

1 2. 喜入地域

(1) 地域の概況

◆地域の構成

本市の南部に位置し、地域の大半を占める山地と、山間部の農村集落、錦江湾沿いの限られた平坦地で構成されています。

◆人口

人口は、約1万1千人で減少傾向にあり、老年人口比率は39.1%と桜島地域、郡山地域、吉田地域に次いで高くなっており、北中部に比べて南部の過疎化・高齢化が進んでいます。

◆土地利用の状況

地域の大半は「樹林地等」であり、その中に「農地」を含む農村集落が分布しており、臨海部には、石油備蓄基地などの「工業用地」、平坦地には「住宅用地」が分布しています。

(2) 基本目標毎の現況と課題



コンパクトで暮らしやすい都市

生活利便施設が集約した地区が喜入支所周辺や国道226号沿いの一部に限られており、買い物や医療施設の利便性に対する満足度が低い状況です。集落の中心となる地区の活性化が望まれていることから、各拠点への生活利便施設の誘導が必要です。



快適で移動しやすい都市

都心部へのアクセス道路が国道226号などに限られるため交通混雑が慢性化しており、また、鉄道の利便性に対する満足度が高い一方で、バスの利便性に対する満足度が低い状況もあることから、幹線道路などの整備や公共交通の確保が必要です。



にぎわいと活力のある都市

プロサッカーチームのトレーニング施設や石油備蓄基地などがありますが、雇用の場に対する満足度が低く、産業用地の開発整備が望まれていることから、スポーツを生かしたまちづくりや低未利用土地の活用などによる産業機能の充実が必要です。



安心・安全な都市

錦江湾沿いの平坦地を中心とした住宅地では、津波や土砂災害への備えが必要なエリアが分布しており、自然災害に対する安全性への満足度が低く、防災のまちづくりが望まれていることから、災害に強いまちづくりが必要です。



自然・歴史・文化を生かした都市

美しい自然海岸や一団の山林自然環境のほか、農業体験や学習ができる観光農業公園や、日本遺産「薩摩の武士が生きた町」に認定された喜入旧麓地区などがあり、自然環境や景観の保全が望まれていることから、これらの保全・活用を図ることが必要です。

●喜入地域のまちづくりの資源と主要課題図

良好な農業環境と居住環境の確保が必要な農村集落地



序章
都市マスタープランについて

第1章
課題と方向性

第2章
全体構想

第3章
地域別構想
1.2. 喜入地域

第4章
構想推進のために

資料



▲ メヒルギの北限自生地



▲ 南方神社



▲ 喜入旧麓地区

【地域の資源】

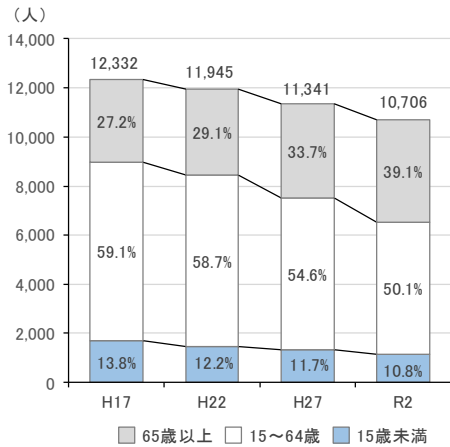
自然	①地域西部の一団の山林自然環境 ②錦江湾沿いの自然海岸 ③メヒルギの北限自生地
歴史 (史跡など)	④摩崖仏 ⑤南方神社
まち並み ・景観	⑥指宿スカイラインなどからの雄大で良好な眺望 ⑦日本遺産「薩摩の武士が生きた町」に認定された喜入旧麓地区 ⑧景観重要建造物に指定された喜入小正門、西門と石垣
公共施設等	⑨喜入公民館 ⑩観光農業公園(グリーンファーム) ⑪生見海水浴場 ⑫喜入総合体育館・運動場 ⑬マリニピア喜入 ⑭喜入地区保健センター ⑮喜入武道館 ⑯喜入農業構造改善センター
その他	⑰鹿児島ユナイテッドFCトレーニング施設



▲ 観光農業公園(グリーンファーム)

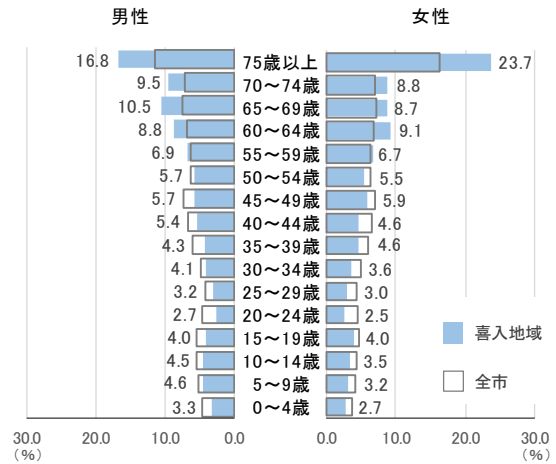
第3章 地域別構想

人口と年齢構成の推移



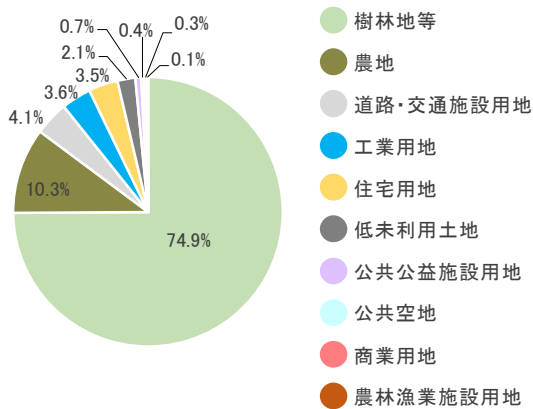
資料) 国勢調査

人口年齢構成



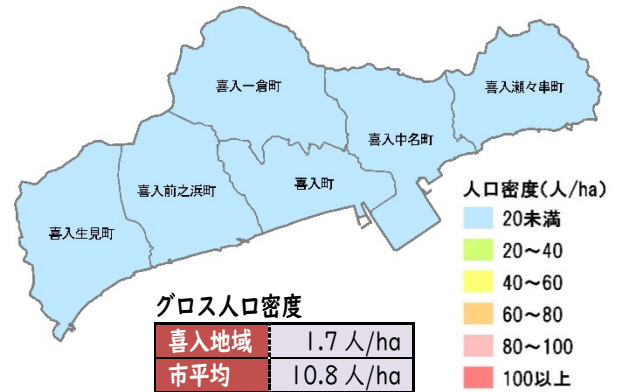
資料) 2020 (令和2) 年国勢調査

土地利用面積の割合



資料) 2018 (平成30) 年度都市計画基礎調査

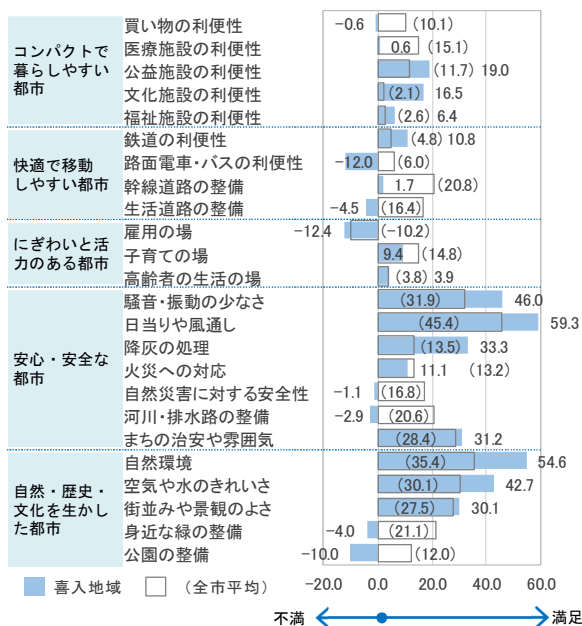
町丁目別人口密度



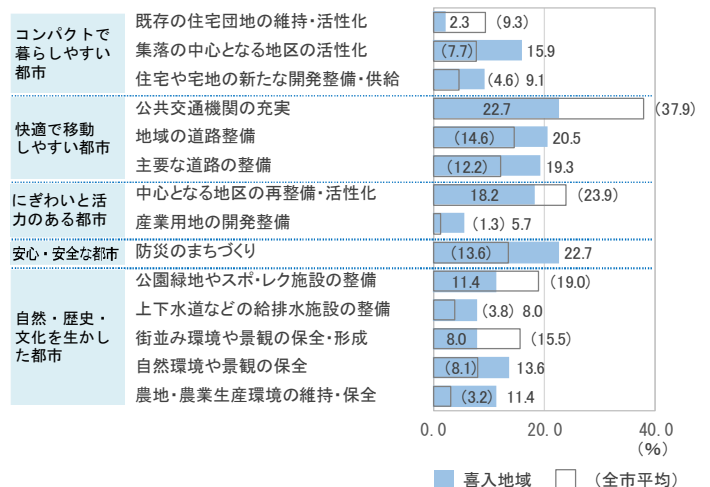
資料) 2020 (令和2) 年国勢調査

市民意識調査

地域の評価



まちづくりの優先事項



資料) 2017 (平成29) 年市民意識調査

(3) 地域のまちづくり構想



喜入支所周辺の拠点性の向上と鉄道駅周辺などにおける生活利便性の確保

- 喜入支所周辺の地域生活拠点では、都市機能の集約による拠点機能の充実を図ります。
- 瀬々串駅や中名駅周辺などの集落核では、小～中規模の店舗などの誘導による生活利便性の確保を図ります。
- 豊かな田園環境を有する農村集落では、良好な集落環境の保全を図ります。



国道226号の整備促進などによる交通の円滑化や交通手段の確保による利便性の向上

- 国道226号の整備促進などによる道路交通網の強化を図ります。
- 生活道路の整備による交通の円滑化などを図ります。
- 公共交通の利便性が低い地域では、日常生活の交通手段の確保を図ります。



臨海部などの低未利用土地の活用による産業機能の充実

- 広域交通網や臨海部の低未利用土地の活用による工業・物流などの産業の立地を促進します。
- 豊かな自然環境を生かし、クリエイティブ産業やサテライトオフィスの立地に向けた土地利用の誘導を図ります。
- プロサッカーチームのトレーニング施設を生かしたまちづくりを推進します。
- 喜入総合体育館などのスポーツ施設をスポーツ振興・健康づくりの場として活用を図ります。



津波や土砂災害などに備えた災害に強いまちづくりの推進

- 土砂災害への備えが必要な地域では、土砂災害対策を図ります。
- 八幡川などの流域では、総合的な治水対策を図ります。
- 津波災害への備えが必要な地域では、避難経路の確保を図ります。
- 緊急輸送道路などを中心とした災害に強い交通ネットワークの形成を図ります。



自然海岸や山林などの豊かな自然環境や景観の保全・活用


- 自然や伝統的文化が一体となった街並みが残る喜入旧麓地区では、良好な景観の保全を図ります。
- 市民との協働による緑化の促進などによる潤いある都市空間の形成を図ります。
- 公園の再整備などによる広く市民に親しまれる公園の充実を図ります。
- 優良な農業生産環境や緑豊かな集落景観の保全・活用を図ります。
- 錦江湾沿いの自然海岸や山林などの自然環境の保全を図ります。
- 農業体験や学習ができる観光農業公園（グリーンファーム）を活用して、グリーン・ツーリズムを推進します。

(4) 地域の整備方針


◆整備方針（ゾーン毎）


- 地域商業・サービスゾーン

○地域生活拠点では、拠点機能の充実に向けて、生活利便施設の立地誘導を図ります。
- 職住共生ゾーン


○喜入支所周辺では、職住育近接型のまちづくりに向けて、働く場などの立地誘導を図ります。
- 生活環境保全ゾーン

○低層住宅を中心とした良好な居住環境を維持・保全するため、住民主導による地区計画や建築協定などの活用を促進します。

○田園環境と調和した土地利用の誘導による良好な居住環境を形成し、一定の整備水準を確保するため、開発許可の規模の引き下げなどを検討します。
- 複合産業ゾーン

○喜入港の石油備蓄基地では、広域的な物流拠点としての機能の保持・増進を図ります。

○臨海部では、低未利用土地の活用による工業・物流などの産業の立地誘導を図ります。
- 田園集落ゾーン

○集落核では、生活利便施設を誘導するため、特定用途制限地域の活用を図ります。

○優良な農業生産環境や緑豊かな集落景観を保全するため、特定用途制限地域の活用を図るとともに、開発許可の規模の引き下げなどを検討します。

○クリエイティブ産業やサテライトオフィスの立地を誘導する方策を検討します。

○喜入旧麓地区では、歴史と自然環境が調和した景観形成に向けて、同地区景観計画を活用した景観づくりを促進します。

○農村集落の生活環境を改善するため、道路・公園などの計画的な整備を図ります。
- 自然環境保全・活用ゾーン

○一団の自然環境を保全するため、特定用途制限地域の活用を図るとともに、開発許可の規模の引き下げなどを検討します。
- 自然公園・森林ゾーン

○一団の山林自然環境の保全を図ります。